



議会だより

あまぎ

令和4年
3月定例会

令和4年4月25日
第123号



役場庁舎でいだデッキで遊ぶ園児たち

目次

- 令和4年度一般会計 P 2
- 一般質問 P 3
- 委員会の様子 P14
- 委員会審査報告 P15
- 令和4年3月定例会議決事項／編集後記 P16

令和4年度一般会計当初予算 64億6,230万円に決定

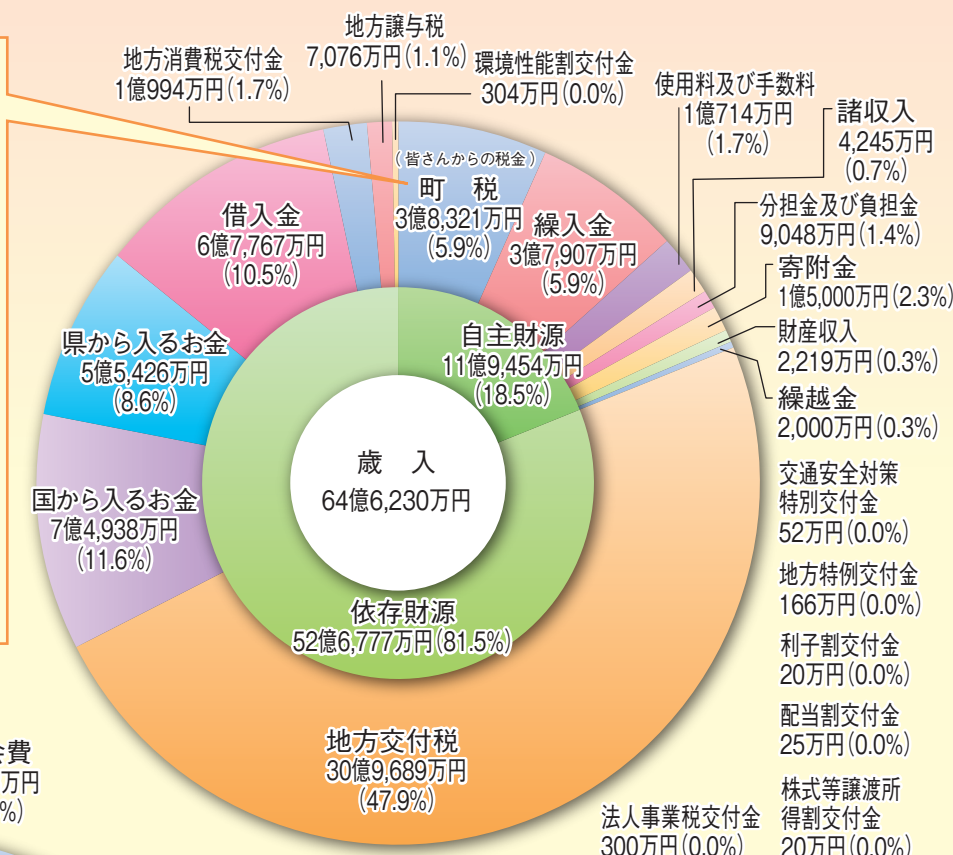
(前年度比 1億 1,372万円、1.8%増)

「住んでよかった。これからも住み続けたい。暮らし満足度 No.1 のまち」を目指して～

令和4年第1回定例会を3月8日から 25 日まで開催しました。4年度当初予算や令和3年度の補正予算など 22 議案が提出され、そのうち22件について可決しました。一般質問では、9人の議員が質問を行いました。

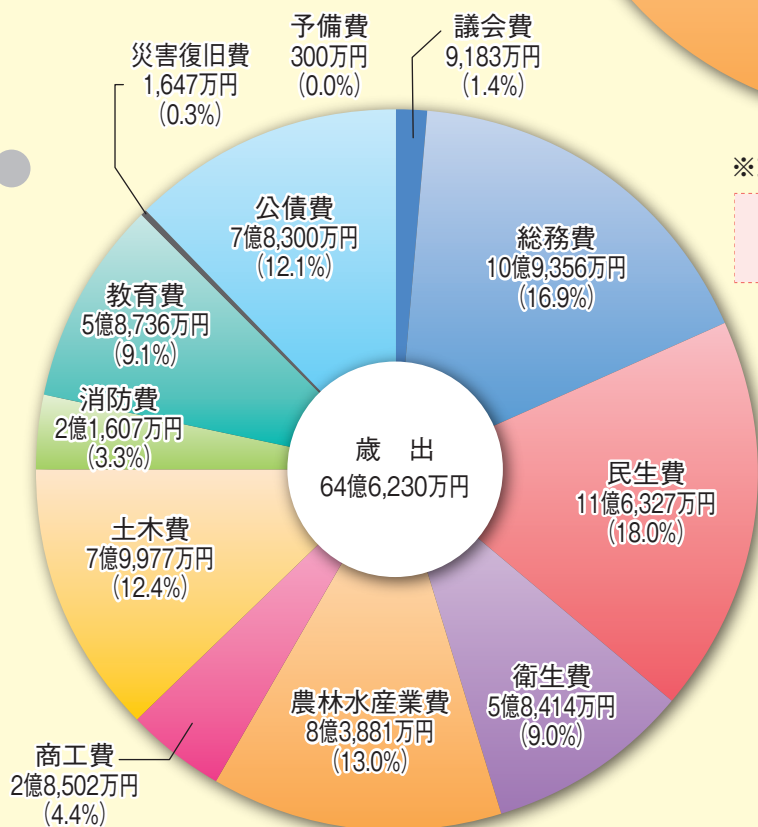
町税の内訳

区 分	金 額
町民税	1億 2,772 万円
内 個人	1億 1,142 万円
法人	1,630 万円
固定資産税	1億 7,371 万円
軽自動車税	2,778 万円
町たばこ税	5,400 万円
鉱山税	0.3 万円



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

自主財源 … 町税など自主的に収入する財源
依存財源 … 地方交付税など、国又は県から交付される収入



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

R4年度特別会計当初予算額

国民健康保険会計	9億 5,651 万円
介護保険会計	8億 4,979 万円
後期高齢者医療会計	7,888 万円
徳之島ダム小水力発電会計	4,680 万円

R4年度水道事業会計当初予算額

収益的収入	2億 6,187 万円
資本的収入	0 万円
収益的支出	2億 520 万円
資本的支出	4,975 万円

一般質問



武田 正光
議員

本町の「まちづくり」構想について

問 超少子高齢化、人口減少による労働力、財政又は地域コミュニティなどの空洞化を避けるための方策は。

答 令和2年度の国勢調査では本町の人口は5,517名で前回の調査より458名(7.7%)減少している。この人口減少が各業種の労働力不足や集落運営、活動低下や学校存続など地域活力の低下や地方交付税や他の税収への影響が懸念される。

これまでの支援事業で一定の効果は出てきていると感じています。更に今年度は出産祝金の増額、学校給食費の完

全無償化を実施するなど人口問題については積極的に対策を講じて参ります。

事業年度と事業実施のあり方(進め方)について

問 当該事業年度内の事業の進め方にもっと緊張感が必要では。

答 建設課をはじめ各課において土木事業、建設事業などを推進しております。事業の進め方としてまず事業要望を行い、当該年度には交付申請、交付決定、設計委託、工事発注と進めているが、年度内に工事完成しない傾向にあり出来るだけ早期発注に努めて参ります。

学校教育について

問 バス通学生への通学費助成の利用状況は。

答 令和2年度に高等学校バス通学支援事業補助金交付要領を策定して補助事業を開始している。利用状況は、令和2年度は申請者2名、補助金額130,900円でしたが本年度は現在まで補助申請者はありません。

問 学生の検定料補助後の利用状況は。

答 令和2年度に天城町学力向上検定補助要綱を策定しています。利用状況は以下の通りです。英語検定2回、数学、漢字検定各1回実施。受験者は延べ139名でした。今後とも学習意欲向上に繋げるため実施して参ります。



吉村 元光
議員

ノーマライゼーションの推進について

問 障がいのある方々にとっても暮らしやすい社会づくりについて。

(※ノーマライゼーションとは、障がい者を特別視するのではなく、障がいのない人と同じように社会で暮らしているようにしようという考え方。)

答 東京パラリンピックから多様性ある共生社会の実現が普遍的な価値観になってきた。天城町に於いても障がいのある方々に対し、学校教育での充実した支援や公共施設等のバリアフリー化の導入に取り組んでいく、ボチャ競技等の



社会スポーツも推進する、また、式典等における座席の確保（シルバークシート）に努める、役場職員の採用についても積極的な登用を図る。

人口減少対策について

問 人口減少が顕著に進行しているがその抑止方策は考えているか。

答 天城町の人口は令和2年度の国勢調査で5,517人となっており5年前に比較して458人、7.7%の減少となり由々しい現象である。その抑止方策として結婚応援支援事業、子育て支援など更に拡充の必要がある、令和4年度から学校給食費の完全無料化や出産祝金の第一子が10万円、第二子目から10万円を加算する厚みのある制度に改正した。また、人口減少対策としてU、I・ターンの定住促進を図るためワンストップ

窓口を設置しているが今後は移住者の住宅建設敷地の確保も検討していきたい。

建設行政について

問 今後の町営住宅建設計画について。

答 町営住宅の建設につきましては、『天城町公営住宅等長寿命化計画』に基づいて進めて行く、令和4年度中の住宅建設は当部集落に1棟2戸の木造住宅、三京集落に2棟2戸の木造住宅、前野集落に1棟6戸の公営住宅、西阿木名集落に1棟4戸の教員住宅が計画にある。また、町全体として公営住宅建設の建て替え等が遅れているのは否めないが、戸ノ木住宅は別場所へ新規建て替えの方策で進めたい、この方法を取れば防災の面と他の住宅建て替え時の仮設住宅の課題が解消される。

南部地区の振興について

問 秋利神キャンパスパークにグラウンドゴルフ場を建設できないか。

答 現在のキャンパスパークは公園機能を提供できる状態ではなく除草等ランニングコストも多額になっている。この施設、敷地を活用しグラウンドゴルフ場を作り変えた場合は建設コストを抑えられることや入込客の増加で観光業の活性化が図られる、またスポーツの振興で町民の健康増進と交流の場づくりに繋がり前向きに検討する。

問 第6次天城町総合振興計画の着実な推進について（校舎建設等）。

答 均衡のとれた町土形成と全集落の持続的発展の観点から第6次天城町総合振興計画（AMAGEVISION）の着実な実

施が必要である。大きな財源を伴うことから町では基金「天城町公共施設整備基金（722,000千円）天城町学校施設整備基金（1,000千円）財政調整基金（1,138,000千円）」を追加積み立て、西阿木名小中学校校舎等大きな教育施設の建て替えや天城町振興の基本となる各施策の実施に向けて最大限努力していきたい。



奥 好生
議員

町民の所得向上について

問 本町の平均所得額について。

答 鹿児島県が令和3年3月に発行した「平成30年度市町村民所得推計報告書」によりますと、人口1人当

たりの所得は、鹿児島県の平均が2,509千円に對し、本町は1,958千円となっている。

問 具体的な所得向上対策について。

答 町民の所得向上対策につきましては、農林水産業の生産振興、商業・観光業の活性化で所得の向上に繋がるものと考えている。

農業においては、単収向上による増収、生産コストの削減、高収益作物の導入などを推進し、水産業においては、全般的な漁業の振興施策を展開していく。

世界自然遺産登録を契機に、ガイド業の定着や飲食店の充実など観光業と商業の一体的な取り組みで、地域経済の活性化を図っていく。

他にも、雇用の場の創出や普通建設事業（公共工事）の確保、福祉サービス事業の充

実などの取り組みを積極的に推進していく。

職員給与のラスパイレス指数について

問 県内市町村における位置づけについて。

答 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準であり、令和3年4月時点での県内市町村のラスパイレス指数の平均は97・2、それに対して天城町は91・9となっている。

問 今後の改善策について。

答 職員給与のラスパイレス指数の改善策として、職員の年代構成の偏りを緩和させるため計画的な採用を行うなど、適正な給与水準の確保に努めていく。

建設行政について

問 兼久小学校敷地内の危険箇所について。

答 兼久小学校体育館西側の危険箇所については、町道の路肩法面でもあり浸食が見受けられる。令和4年度に危険箇所の改善を図りたいと考えている。

問 徳之島空港（子宝空港）の刈り草処理について。

答 刈り取ってロールした草は、町内の希望する農家にお譲りしています。

福祉政策について

問 新年度の取り組みについて。

答 出産祝金につきましまして、第1子5万円を10万円に増額し、第2子以降につきましては、1子ごとに10万円を加算する拡充を行っていく。

高齢者福祉につきましまして

は、敬老祝金の支給やひとり暮らし高齢者等の緊急通報装置の設置を推進するとともに老人クラブ連合会や単位老人クラブへの助成金の拡充を行う。また、新たに高齢者ハンドル形電動車イス購入費の一部助成を実施します。

地籍調査事業について

問 進捗率について。

答 調査対象面積を、6,247ha計画しており、その内調査済み面積は2,129haで、進捗率は34・08%となっている。

問 要望地区の対応について。

答 令和4年度5年度は、すでに当部、三京が計画している。その後各地区からの要望についても計画していく。

危機管理について

問 庁舎内の危機管理について。

答 窓口対応業務でのトラブルなど、庁舎内での不当要求行為に対して的確に対処するため、法的措置などを示した危機管理対応マニュアルの整備、防犯設備の設置等を検討したいと考えている。

問 守秘義務について。

答 職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様であるとなっている。

住民監査請求と訴訟について

問 住民監査請求の結果の公表について。

答 住民監査請求につきましては、監査委員の合議に至らず、結果が得られなかったことから、地方自治法第242

条にあります公表の義務がないものと考えている。

問 住民監査請求人の公表について。

答 住民監査請求人の公表につきましては、個人情報保護の観点から差し控えさせてもらいたいと考えている。

政治姿勢について

問 県営畑総事業未清算金について。

答 県営畑総事業未清算金については、平成29年度から清算事務担当職員を配置しながら、事務処理に取り組んでおり、現在対象地区が33地区あり、7地区が完了している。

今後も継続して事務処理を行っていく。

問 ユイの館の改修について。

答 施設の安全性のみならず社会や時代の変化に合わせ



ユイの館

た利便性と機能向上の強化を計った改修に取組み、なお一層市民の皆様や、増加が予想される観光客の皆様に親しまれる施設となるよう努めていく。

問 平土野地区活性化について。

答 令和4年度においては、買い物客の利便性の向上を図るため、地権者と商工会の協力のもと利用者専用の駐車場を整備します。

また、イメージアップのためポケット公園前から役場西



平土野商店街内壁画

側までの歩道をカラー舗装します。

問 就任から3年が過ぎたが、今どのように感じているか。

答 就任から4年目を迎えたが、私のモットーであります「先ず隗より始めよ（率先垂範）」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有し、「変化を恐れず動き出す」ことを常に意識しながら町民サービスの更なる向上に努めていく。



問 「くらし満足度NO.1の町」づくりの自信はあるか。

答 天城町で暮らしてよかったと心から感じられるよう、地域からの声に真摯に耳を傾け、町民の皆様と共に、行政運営に力を注いできたと考えている。

今後も、自分の主観的・個人的な意見や感情にとらわれることなく、「公平無私」の心で物事を分析し、町民が主役の暮らし満足度ナンバーワンを目指していく。



大吉皓一郎
議員

創生天城について

問 クラウドファンディングでスポーツ愛ランドの強化を図れないか。

答 クラウドファンディングとは、群衆と資金調達を組み合わせた言葉で、インターネットを通して応援したいと思ってくれる多くの人から資金を募る仕組みである。箱根駅伝で青山学院大学が「妙高市」のロゴマークをユニフォームに入れて走った。2004年から妙高市で夏合宿を行っている縁で使った。2日間全国にPRするため大変有効だと思うので力を入れていく。

大学・実業団等キャンプ地

として利用しているチームに話をしながら積極的に取り組んで行く。町内のスポーツ振興、選手の育成、合宿誘致、多様な分野への経済波及効果がある。スポーツ愛ランド、天城町のPR強化も含めあらゆる分野で積極的に実施し寄付額の増加に努める。（世界自然遺産に係るクラウドファンディングを実施（令和3年8月（12月）、201万5千円の寄付があった。今年度に「あまぎ学読本」を作成する。

問 平土野地域の活性化対策について。

答 新たに創業する起業家に対し、対象経費の2分の1以内とし50万円を限度とする。資金活用事業（飲食店開店準備資金）として経費の2分の1以内とし100万円を上限に増額した。



歩道カラー舗装予定地

令和4年度買い物客の利便性の向上を図るため地権者と商工会の協力のもと利用者専用の駐車場を整備する。ポケット公園から役場西側までの歩道をカラー舗装する。高千穂公園における遊具の設置を予定しており、空き店舗取り組みを強化していく。高千穂通りの凸凹はアスファルト補修をする。

みんなが健康の町について

問 島外治療旅費助成金交付拡大はできないか。

答 令和2年度より、島内医療機関での治療が困難な方の経済的負担の軽減を図ることを目的として、旅費の一部助成を実施している。健康と福祉の増進を図る観点から町の単独事業であるので助成金の拡充について検討し町民に寄り添った事業を展開する。

建設行政について

問 県道83号線の改良について（令和4年度以降計画）。

答 令和4年度は4,000万円の予算を計上しており、住民説明会の実施や用地買収に着手する予定。その後ある程度の用地ストックが確保できたら工事に着手する予定。令和8年度までの事業計画。県道西阿木名未改良地区南側

500メートルの区間は歩道がなく、通学に大変危険である。伊仙町から空港へ行く時も道路が狭い現状である。町をあげて要望していく。

問 天城尻田線の進捗状況について。

答 筆界未定の土地が多数あることから計画実現に課題が残っており事業実施には至っていない。今後筆界未定を解消するよう地権者に協力をお願いしていく。

教育行政について

問 教育委員会の各施設・各種事業は適正に運営されているか。

答 各学校の図書室に、一般紙の他に、読売KODOMO新聞・朝日小学生新聞・中高生新聞が入っている。子供向け新聞を取るよう指導している。読み取る力と

発信する力を本町の健全育成に努める。読み聞かせは、教育格差関係なくできる最初の教育と言われている。子供と過ごす時間を大切にしよう。就学前に学業の基礎を作ることができるところからそれを共有し習慣化されるよう努める。町立図書館のお話コーナーを整備し、読み聞かせを行う。

天中の武道館・シャワー室の扉の修理をする。ナイター照明修理が必要である。令和4年度スポーツ振興くじ助成金（toto）補助事業を申請していく。それまで簡単な電球の取り換え、方向等修理をしていく。天城小・岡前小の照明についてLED化などといった物がいいか検討している。



平岡 寛次
議員

水道行政について

問 渇水対策の取組みについて。

答 渇水時において、町民に及ぼす影響を極力緩和するため迅速な対策が求められます。その対策として

- （1）新たな水資源の調査、確保
- （2）渇水による水源池水量の状況に応じて段階的な給水制限
- （3）町民への集落放送で節水をお願い

また、町民が安心できる水の安定供給を目指し、令和5年度より、松原第1、第2浄水場から「生活基盤近代化事業」を活用し渇水、災害に強

水道施設更新に努めていく。
その間、町民の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いしていく。

建設行政について

問 各事業の予算執行状況について。

答 予算執行状況につきまして、一部繰越事業がありますが、計画的に執行しております。

今後も事業の平準化等に配慮しながら、予算執行していく。

町政運営について

問 デジタル化推進について。

答 政府の掲げているデジタル社会の目指すビジョンである「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」誰一人取り残さない、人に優しいデジタ

ル化」の実現に向け、町民の利便性向上や自治体の業務効率化などを目的として進めていくものである。

国ではデジタル庁が、また県においてもデジタル推進課が設立されており、今後の社会の在り方としてデジタル化の推進は必要不可欠なものと考えており、本町におきましても、令和4年4月から新たにデジタル推進係を総務課に配置します。

問 貸与型修学資金の制度導入は検討できないか。

答 将来医師としてその業務に従事しようとしている方に対して、貸与型の奨学金事業を行っております。内容としては、月額15万円以内での無利子貸与で、大学卒業後2年以内に医師になり本町において医師として在職した場合は返済が免除されます。現在一名の方が利用している。

問 防災センター未竣工工事問題について。

答 天城町防災センター未竣工工事の問題については、これまでも説明してきましたが、事業主体が町であるということと責任を重く感じています。

本件を教訓とし、再発防止に努めるとともに解決に向けて取り組んでいく。



秋田 浩平
議員

農政について

問 畑作物について。

答 今期のさとうきびは、基準糖度帯以上が95%と品質は良く、1トン当たりの農家手取額も昨年同期より1千6百

円程度増えておりますが、町全体の生産量が6万4千1百トンと、前年度実績より約3千トン（3,293トン）余り減少の見込みです。

ばれいしょにつきましては、生育も良好で高単価で推移しており、概ね安定した販売が期待されています。

実えんどうにつきましては、は、昨年の強風被害に対し、資材助成等も行ったところですが、農家数・面積共に減少傾向です。

引き続き、品質及び生産の向上が図られるよう関係各所と連携し、支援していきたいと考えています。

問 畜産について。

答 本町の畜産につきまして、飼養農家戸数が329戸、繁殖雌牛飼養頭数が4,228頭となっている。

農家戸数は近年ほぼ横ばいで推移しておりますが、自家

保留・導入助成事業の効果もあり飼養頭数は平成27年度以降、年々増加している。子牛価格については、依然として高値で推移している。

水産業施設について

問 やっちゃえいとまん施設の進捗について。

答 工期を令和4年3月25日としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、工事受注者が発注した建設資材メーカーにおいて職人の休業や加工場の操業縮小・停止が相次ぎ、建設資材等の納入に遅れが生じている。

遅れに伴い、年度内に事業を完了することが困難となったため、事故繰越し申請を鹿児島県に提出している。

観光行政について

問 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業について。

答 あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し基本・実施設計を行っている。

収容人数は3千人を想定した設計を行っており、自然や伝統文化を体験できるだけではなく隣接した総合運動公園や山猪工房などの連携、さらに徳之島空港及び平土野港が隣接しており、立地条件を活かした活用方法を関係団体と調整し、一体的に利用すること、徳之島観光の拠点施設となるようなPRを行っていく。

新型コロナウイルス対策について

問 新型コロナウイルスの現状と今後の取り組みについて。

答 2月23日町内での感染が確認され、その後、児童施設でのクラスター発生、児童生徒の感染確認など緊迫した状況が生じた。

今後の取り組みとしては、各施設で感染拡大の要因を分析し、マスク着用が不十分な場面や密集密閉が生じる場面を洗い出し、対策強化を行います。一番大切なのは児童施設や高齢者施設にウイルスを持ち込まない、持ち込ませないことだと考えている。

関係者の皆さんの健康観察の徹底と積極的な検査の推進を図っていく。



喜入伊佐男
議員

2期目に向けての政治姿勢について

問 令和4年12月に選挙が行われますが、町長の思い又は考えについて。

答 平成30年12月に町長に就任して以来、私の公約として「住んでよかった。暮らし満足度No.1の町」の実現のため、6つの柱を基本概念として誠心誠意、全力で町政運営に努めてきた。

町議会をはじめ、町民の皆様のご理解・ご協力に改めて感謝とお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスという難題に対し、大変厳しい社会情勢の中ではございますが、改めて振り返ってみますと、施政方



針などでお示しした事柄について、天城町の目指す町づくりに取り組み、各種政策については、それぞれに事業効果があったと考えている。

一方、できていないこともあり道半ばという思いもあります。残された期間、一つひとつの課題解決に向けて鋭意努力する所存でございます。

本町を取り巻く状況もコロナ禍で大変厳しいものが予想される。

これからの天城町がさらに安心して住みやすく、誰もが住んでよかったと思える町づくりを推進していくため、まだまだやるべきことがあると感じている。

そのために、引き続き、町政の舵取り役として、その重責をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。町民の皆様方のご理解並びにご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

畑地帯総合整備事業（兼久地区）について

問 畑総整備事業の進捗状況はどのようになっているのか、また令和4年度の計画について。

答 県営畑地帯総合整備事業兼久地区については、令和3年度から地権者を特定するための作業を進めている。

令和4年度には現地説明会をし、事業確認作業、いわゆる同意徴収を行いたいと計画している。



久田 高志
議員

農政について

問 農業研修制度の現状は、どのようなになっているか、また、課題等はないか。

答 農業研修制度につきましては、認定農業者や認定新規就農者・女性農業経営士・青年農業士などを対象に、県の農業普及課専門員や指導農業者等、関係機関と協力しながら、経営研修や技術研修などを年間を通じ行っている。

専門的な研修としまして、天城町農業センターにおいて施設園芸作物（野菜・果樹・花き）の基礎知識及び栽培技術の習得を目的とした研修を行っています。これまで59名

が受講し、研修後の就農率は75%と高い状況です。

今後、糖業、畜産に対する研修制度の確立が課題です。

政治姿勢について

問 防災センター未竣工工事に関わる交付金返還と加算金について、町民への説明が必要と考えるが、原因と経過の詳細についてどのようにになっているか。

答 天城町防災センター未竣工工事の問題につきましては、事業主体が町であるという事で責任を重く感じています。

これまでも、本会議においてご説明してきましたが、未だ十分とは考えていません。町民の皆様へのご報告につきましては、しかるべきときに行いたいと考えている。

水産業施設について

問 やっちゃえいとまん施設整備事業の進捗状況についてどのようになっているか。

答 工期を令和4年3月25日としていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、工事受注者が発注した建設資材メーカーにおいて職人の休業や加工場の操業縮小・停止が相次ぎ、建設資材等の納入に遅れが生じている。

遅れに伴い、年度内に事業を完了することが困難となったため、事故繰越しについて鹿児島県と協議していきます。

昨日3月9日に、九州財務局長から鹿児島県総務部長宛てに事故繰越が承認された旨の連絡がありました。

寄附金について

問 島内企業より多額の浄財が寄付されたが道義的に問題等はないか。

答 徳之島の建設会社から「天城町の発展に」ということで多額のご寄付を頂きました。

この度のご寄付については、相手方の善意の自発的意思に基づくものであり、形式、実質ともに自発性、任意性が確保されていることから寄附を受け入れたもので、道義的な問題はないものと認識しています。



松山善太郎
議員

公共事業は適正・適確に執行されているか。

問 西阿木名公営住宅建築工事は実施設計（工期10月9日から11月9日へ変更）完了から、工事発注（令和3年3月8日）まで4ヶ月あるが大幅に遅れた理由は何か。また、工期内（令和3年3月11日から4年1月31日）に完成するのか。

答 敷地の整備や設計の遅れ、さらに県の審査等に日数を要したのが主な理由です。早めの発注、完成に努めている。また、機械設備の納入が遅れており、3月11日の完成を見込んでいます。3月25日の入居（山海留学2世帯を含む）を予定している。

問 大和川公営住宅建築工事（令和3年度工事）は年度当初の5月13日付で補助金の交付決定が国土交通省から来ている。未だに発注さえしていないが、どうなっているのか。

答 実施設計の発注（8月11日）まで事務の遅れで3ヶ月程要しました。その後、設計事務が大幅に遅れていまして、3度工期変更（8月13日から11月30日へ、さらに令和4年1月20日へ、さらに2月28日へ）をした。設計の一部外注などがありこのような結果になってしまった。3月中には発注する予定で進めている。

問 自然と伝統文化体験館事業（ドーム闘牛場）整備事業について、基本設計（令和3年2月26日発注）が上がった段階で議会に呈示する約束だったがどうなったか。また、今の段階で事業費は当初

見込みの6.5億円を大幅に上回るのか。

答 工期を変更（令和2年3月31日から11月30日）して進めていましたが、事業費が膨れ上がり、更なる変更が必要となり、設計書をお示しすることができず、今日に至っており、申し訳なく思っている。事業費をできるだけ落とすように進めています。事業費については、概算で11億円を超える金額になる見込みです。

問 やっちゃえ！いとまん！6次産業化施設整備事業（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）について交付金の決定（令和2年9月）から設計事務発注（令和3年1月）まで4ヶ月で、設計書が完了（5月31日）してから5ヶ月後の工事発注（11月5日）となっているが何故か。また、8600万円

超の大型工事であり最初から工期内完成は無理であったのではないか。

答 途中で事業費の見直し等があり、設計業務の発注が遅れました。工事の発注については、開発申請許可が必要となり、手続きに期間を要した。

国庫補助金の不正受給(4,000万円の返還金)について

問 防災センター新築工事に伴い7,000万円以上の返還金等が発生しており、関係者の責任は重大である。

12月定例会以降の取り組みと結果について説明を求め。

答 当時の担当課長は昨年末再任用職員を辞している。前町長とは総務課長が電話で話しており「責任が全くないとは言えない。」との考えだそうです。

問 不正受給発覚後、町長自ら3回溯上建設工業を訪問しており、その結果として2月の1000万円の寄付になったものと思う。「新聞記者を呼び、町長室で受け取る場面を紙面に載せた。」私は違和感があるが。

答 今回の事案や町のあり方を話しに行きました。自発的な寄付行為であり、形式的な贈呈式と考え、相手に確認して、新聞記者を呼んだものである。今後本件の解決に向けて取り組んでいく。

少子化対策について

問 令和4年度以降の具体的な対策を聞きたい。

答 令和4年度から出産祝金を第1子5万円から10万円に増額し、2子以降も10万円ずつ増額していく。新たに小・中学校の給食費の完全無償化をします。これまで実施している事業についても、一層の充実を図り効果が高まるよう取り組んでいく。

定例会の詳しい内容については、AYTにて当日の生配信及び後日の再放送、または、インターネット動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）でもご覧いただけます。



▶ 総務文教厚生常任委員会 ◀



ていだテラス雨水対策工事



▶ 建設経済産業常任委員会 ◀



農業基盤整備促進事業現場確認



公営住宅建設予定地（三京地区）



6次産業化施設の現況確認

〈委員会審査報告〉

令和4年度予算を審査

全会一致で可決

令和4年第1回定例会を3月8日から25日まで開催しました。

当初予算や3年度の補正予算など22議案が提出され、すべて可決としました。一般質問では、9人の議員が質問を行いました。当初予算については当議会の常任委員会（総務文教厚生・建設経済産業）に審査が付託され、それぞれの委員会ごとで所管する課の予算内容の審査と現地確認を実施しました。

令和4年度予算について

執行部へ提言

〔総務文教厚生常任委員会〕

委員会

令和4年度天城町一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢医療）それぞれの歳入歳出予算について総務文教厚生常任委員会は慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の4点を執行部に申し入れました。

（意見）

1. 教育施設の整備については計画に沿って早急を実施すべきである。また、危険箇所についても迅速な対応を講ずるべきである。

1. クリーンセンターの建設については、令和17年度本町への新設へ向けて必要な調査基本構想の策定などを早急に実施すべきである。

1. 山海留学を含むU・ターン者の受入態勢の充実を図るべきである。

1. 委員会からの申入れ事項については、真摯に対応すべきである。

〔建設経済産業常任委員会〕

委員会

令和4年度天城町一般会計・徳之島ダム小水力発電特別会計・水道事業会計、それぞれの歳入歳出予算について建設経済産業常任委員会は慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会

の意見として、次の4点を執行部に申し入れました。

（意見）

1. 繰越明許費が多額である。計画性を持ち、単年度執行に最大限努力すべきである。

1. 建設事業推進等においては、用地取得、移転補償等完了後、速やかに着工すべきである。

1. 6次産業化施設については、工期内竣工が不可能となった。事故繰越にはなったが、今後各種工事施工について最大限の注意を払うべきである。

1. 町単独補助事業については、要綱等に則り目的・効果を精査し適正かつ公平に実施すべきである。



令和 4 年 3 月定例会

番 号	件 名	結 果
議案第 2 号	天城町議会議員及び天城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
議案第 3 号	天城町学校施設整備基金条例の制定について	原案可決
議案第 4 号	天城町国民健康保険基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 5 号	天城町国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 6 号	天城町出産祝金支給条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 7 号	天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 8 号	天城町飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決
議案第 9 号	天城町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 10 号	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第 11 号	天城町町道の路線の廃止について	原案可決
議案第 12 号	令和3年度天城町一般会計予算補正（第10号）について	原案可決
議案第 13 号	令和3年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第4号）について	原案可決
議案第 14 号	令和3年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第4号）について	原案可決
議案第 15 号	令和3年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決
議案第 16 号	令和3年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正（第3号）について	原案可決
議案第 17 号	令和4年度天城町一般会計予算について	原案可決
議案第 18 号	令和4年度天城町国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 19 号	令和4年度天城町介護保険事業特別会計予算について	原案可決
議案第 20 号	令和4年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決
議案第 21 号	令和4年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算について	原案可決
議案第 22 号	令和4年度天城町水道事業会計予算について	原案可決
陳情第 8 号	天城町立岡前小学校与名間分校新校舎建設について	採 択
陳情第 9 号	徳之島地区合同選果場建設について	継続審査
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	議員派遣予定の件について	可 決
議案第 23 号	令和3年度天城町一般会計予算補正（第11号）について	原案可決

◆ 編集後記 ◆

3月定例議会において令和4年度の当初予算が提出されました。コロナ禍の為、感染対策や影響のあった事業所への支援事業はもちろんの事、糖業振興、畜産振興、商工水産振興、インフラ整備、福祉事業、教育関係等様々な事業が組まれております。注目する事業としましては、今年度より3、4年掛けて「あまぎ自然と伝統文化体験館」の整備が本格的に始まります。農産物等の直売所も施設内に併設されるという事で、野菜や果物を栽培されている高齢者の方々などの販売ルートとして大いに活用される事を期待しております。安心して暮らせる町、活気あふれる町を実現する為、我々議会議員も日々知見を広げ、深めていき、行政運営をチェック、提言を行って参りたいと思っております。その為にも町民の皆様からの御助言、御指導を宜しくお願いいたします。最後に町民の皆様へ更なる御健勝と御多幸を祈念し、編集後記とさせて頂きます。

議会だより編集委員会

昇 健児